

新しい価値観と食卓を

子育て講座「子と共に生きよう」

雑穀料理家の大谷ゆみ

こ(愛称・つぶつぶグラン

まゆみこ)さんⅡ写真Ⅱ

を講師に招いた子育てセ

ミナーが13日、グリーン

ピア彦根で行われ、県内

外から親と子ども計約60

人が参加した。

ゆみこさんは「人の血

液は地球から生まれる穀

物によって作られ、食べ

物は地球と命をつなぐへ

その緒のような存在だ」

と紹介した上で「赤ちゃ

んの育児にミルクや離

乳食は必要ない。生後半

年後まではおっぱい(母

乳)、それ以降はごはん

と塩素の入っていない水、

海の塩を使ったみそ汁や

漬け物を与えるだけで良

い」と解説。「そうするこ

とで子どもはごはんを尊

び、何事に対しても信頼

する、心と習慣をつけるよ

うになる」と述べた。

子どもの育て方につい

ては「育てる(教育する)

という意識をやめて、共

に経験しながら生きる暮



らしが自然に子どもを育

てることになる」と助言。

「子どもは無知で、怠慢、

傲慢な視野の狭い王様の

ような存在から、経験と

共に視野が広がり、意識

が成長し、6歳のころか

ら勘違いを修正しながら

成長する」と説明しなが

ら、情報と鍛錬の機会を

与える重要性を説いた。

このほか、親自身が「人

せる」「生命の力を信頼

し、社会的権威を基準に

生きない」「子どもの世話

係、召使いにならない」こ

となどをアドバイスしな

がら、新しい価値観と新

しい食卓への改革をすす

めた。

講演後には、8曲の自

作の歌と踊りを組み合わ

せた親子で楽しみながら

学べる体験型のセミナー

も行った。